

執筆者：大西優介

きょうのやましなさん活動報告レポート

活動報告一覧

- 1、やましなさんクスフェスタについて
- 2、フリーペーパーについて
- 3、やましなさんメンバー集めについて
- 4、ホームページの移設
- 5、各インタビューのまとめ
- 6、山科感動ツーリズムについて
- 7、各団体とのつながりづくり
- 8、活動のまとめ

1、やましなさんクスフェスタ内での活動

毎月の末(10月月中旬)に行われていたやましなさんクスフェスタ内において来場者への接客や出し物の企画を行った。

8月度にはきょうのやましなさんの主な活動であるインタビューをまとめた記事を、来場者に配布し、やましなさんという団体の活動の広報に努めた。

9月度にはインタビューをもととした記事は発行していなかったが、きょうのやましなさん企画のスーパーボールすくいや、会社の中で以前から行っていたチャリティバザーを運営していく中でのアンケートを行い、今後の活動の参考とした。主に地域の中でどのようなイベントに興味があるか、また地域の活性化に興味があるかどうかなどを来場者に質問した。また、学生の就労体験の一貫としてインタビュー活動を行っていることも伝え、インタビューの約束も行った。

10月度にはハロウィーン企画として、仮装を行っての企画運営を行った。また、この中で11月に発行のきょうのやましなさんのフリーペーパーの素材として、子供連れの来場者の顔写真を撮影した。会場に訪れた親子連れには、親子にとって知りたいことは何か、子を育てるにあたっての悩みは何かなどを質問し、フリーペーパー作成の参考とした。

やましなさんクスフェスタの来場者数は、8月度は200人を切っていたが、9月10月度は200人を超えることができた。今後のきょうのやましなさんの知名度を上げていく活動の場として、来期のメンバーの広報の場としていくことを方針とする。特に今後はフリーペーパーを発行する際には、この場での配布をきっかけにしてもらうことを望む。

2、フリーペーパーについて

今期のやましなさんの活動のまとめとして、フリーペーパーを作成することに決定した。
フリーペーパーを発行するに至った経緯として、インタビュー活動の情報を発信するにあたって、

- ・部数を抑えれば予算を比較的抑えることが可能であり、
- ・継続した活動を行うことができ、
- ・ネット環境に詳しくない方々にも手に取ってもらえる

というフリーペーパーの特徴が現状のきょうのやましなさんの立ち位置に適していたことが主な理由である。

今回のフリーペーパーは、以前のきょうのやましなさんのメンバーが発行していたものとページ数を同じものにし、コート紙 90～110kg で構成されるものを 16 ページのカラーで 5000 部発行した。読んでいて楽しいフリーペーパーづくりをコンセプトとし、それに見合ったデザインや文体で作成した。

かかった費用は 71,700 円であったが、これは山科区役所より、山科を活性化するために活動している団体に給付される補助金、「山科「きずな」支援事業補助金」より捻出した。この発行物を山科区内の施設や商店に設置していく予定である。現在、以下の施設・店舗を予定している。

【施設】

児童館×12
京都橘大学
京都薬科大学
洛東高校
山科区役所
山科青少年活動センター
図書館
文化会館
毘沙門堂
オリーブホットハウス
アトリエ・ウーフ etc

【店舗】

株式会社インサイトハウス
株式会社インサイトホーム
株式会社
前年度山科 BAR の協賛店舗×44
マツヤスーパー
インド料理 RAJU
りとるすと〜ん
木楽庵 etc

【その他】

- ・インサイトハウスでお世話になっている方への送付
- ・フリーペーパー発行団体
「山科じかん」との交渉

3、メンバー集めについて

今後のきょうのやましなさんのメンバーが、9月中旬時点で集まっていなかったため、メンバー集めのためのチラシ作成、山科地区近辺の大学の設置願いを行った。

○チラシの作成

チラシの作成にあたって、きょうのやましなさんの立ち位置がどのようなものであるのかを明確にした。学生団体という名目ではあるが、「株式会社インサイトハウスのインターンシップ事業の一環として行う事業の一部という形で募集を行うこととした。

募集する人員は以下の2種類である。

- ①きょうのやましなさんの団体運営、対外交渉
- ②きょうのやましなさんインタビューのインタビュアー、ライター

①は主に団体の運営の方針の決定、山科区内の他の団体との企画を行う際の交渉、予算の見積もりなど、団体の根幹に関わる部分の決定を行う。

学生団体の仕事を経験したい、事務的な仕事の経験をしたい学生が対象である。

募集人数は3～4人程度、活動期間は半年としている。

②はやましなさんのメインの活動であるインタビューを専門として行うメンバーを募集している。インタビューはしてみたいが、団体の運営などは手が回りそうにないという学生を対象とした。山科区内で活動しているフリーペーパーの発行をメインの活動としている団体、「山科じかん」にインタビューのノウハウを教えてもらうことをメリットとして挙げている。

こちらも募集人数は3～4程度、活動期間は半年とした。

チラシはカラー刷りでA4サイズとした。設置協力先の施設には一箇所につき15～20枚程度提供した。

設置場所

山科青少年活動センター	15 枚
京都精華大キャリアセンター	募集チラシを FAX 送付
京都府立大キャリアセンター	15 枚
京都橘大キャリアセンター	15 枚
大谷大キャリアセンター	15 枚
龍谷大キャリアセンター	30 枚（瀬田学舎、深草キャンパス）
3 期生秋山さん（未発送）	15 枚
学生プラス	15 枚
ミライ企業プロジェクト	17 枚（参加学生に配布）

4、ホームページの移設

きょうのやましなさんのホームページは、従来のものはホームページビルダーを用いたものを使用していたが、更新の方法や使用方法の煩雑さ、経費の面から課題点が多かったため、ホームページの移設を行った。新たなホームページは「jimdo」というホームページ作成サービスを利用したものである。ホームページの更新の煩雑さを回避し、月 1500 円掛かっていた費用の改善に努めた。今後はこちらをきょうのやましなさんのホームページとして使用していく。現在、きょうのやましなさん第五期生がホームページの編集を行っており、今後は 5 期生のインタビュー記事などを掲載していく予定。

HP アドレス 8047san.jimdo.com/

5、情報収集の手段

フリーペーパーの作成やインタビュー先の決定は、主にホームページやインタビュー先からの情報提供をもととした。インタビューを聞いている際にネット上には載っていない情報の収集ができたので、その情報をもとに 11 月発行のフリーペーパーを作成した。

6. 山科感動ツーリズムでの山科じかんとタイアップ企画

山科区内において10月中旬より開始されている、トラベル京都主催のイベント企画、山科・感動!ツーリズムに、先述のフリーペーパーを発行している団体である「山科じかん」とのタイアップ企画に参加した。山科・感動!ツーリズムは、山科区内の清水焼団地における「ろくろ体験・どろんこ広場」をはじめ、山科区内を対象に様々なイベントを行い、地域の活性化を図るプロジェクトである。

このプロジェクト内において、「きょうのやましなさん」と「山科じかん」の合同企画を行う。企画の内容は、両団体の同一の活動である「インタビュー」を、イベントの参加者に行ってもらおうというものである。参加の対象者は山科区内に住んでいる親子10人5組であり、その人達に山科区内でインタビューを行ってもらい、記事にしてもらう。その内容の中でもっともよかったものを12月15日発行のフリーペーパー「山科じかん」と、きょうのやましなさんのフェイスブックに掲載することを企画とする。

参加費は大人1700円、子ども1300円の一組3000円とした。

しかしながら、この企画に参加の希望者はなかったため、この企画は実施には至らなかった。

7. 各団体とのつながりづくり

インタビューを行っている際に、山科区内で障がい者の就労支援活動を行っている「オリーブホットハウス」、親子の生活を応援する「きママっず」、山科区内で幅広い人にアトリエを開放している「アトリエ・ウーフ」などの方と交流を行い、今後やましなさんの活動で協力してもらいたいことがある場合に協力をしてもらえるようにつながりをつくった。

8. 活動のまとめ

今期の活動では大きな活動としてフリーペーパーの作成を行ったが、毎期にフリーペーパーの作成を行うことは予算の面から難しいと考えられる。もし今後フリーペーパーを作成する場合には、フリーペーパーの広告の協賛を取っていく必要があると考えられる。

また、やましなさんクスフェスタは200人ほどの来場者が来ることから広報やアンケートの場として有効な機会であったことがわかったため、今後の活動に有効に活かしてほしい。